

課題

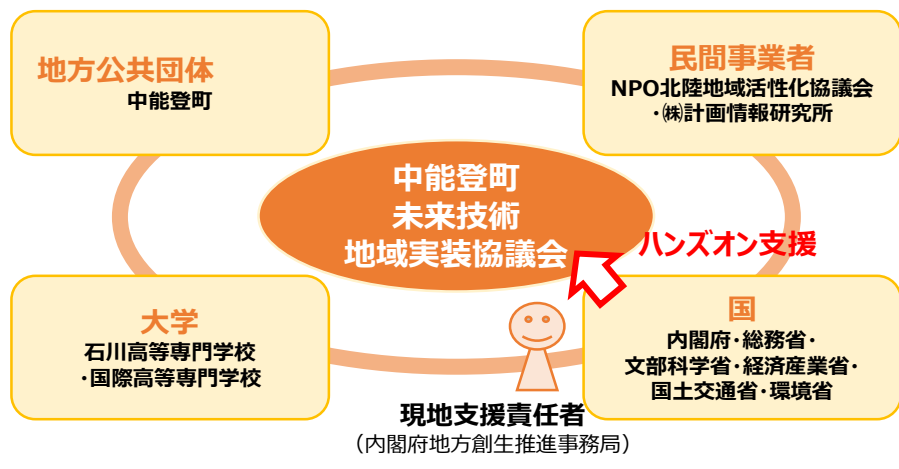
- 心のバリアフリー先進地を目指して、主要観光地までの二次交通や障がい者でも楽しめる観光体験コンテンツの創出、独居世帯の支援
- 人出不足や担い手不足、行政負担増を解消するための未来技術の活用
- 移住や定住を促す、新たな産業や業態、雇用を創出する環境づくり

障がい者も楽しめる町を目指す



(写真：中能登町提供)

推進体制



課題解決に向けた取組

観光ガイド支援事業、伝統技術の継承と観光産業化事業、持続可能なグリーンスローモビリティ事業



- 観光ガイド支援事業
 - ・山岳信仰・戦乱の再現体験映像撮影
 - ・AI・ARによる史実の正しい説明やお薦めルートの提案
 - ・ARやホログラムを活用した歴史キャラのコンシェルジュ
- 伝統技術の継承と観光産業化事業
 - ・AIやロボットによる高齢者の手織りの負担軽減と伝統技術の継承
 - ・ロボットと基幹産業「織物」を活用して観光産業化
- 持続可能なグリーンスローモビリティ事業
 - ・主要観光地の二次交通の一手となる電気自動車による移動サービスの実装

2021年度の主な取組

- 道の駅織姫の里を拠点に、電気自動車を活用して主要観光地への二次交通の実証実験を実施
- 高等専門学校と連携したAIスピーカーの実証実験
- デジタル活用支援員を活用したスマホ教室やマイナンバーカードやマイナポイントの制度PRなど
- AI・ARコンテンツを活用した歴史キャラや歴史再現の映像コンテンツの撮影の実施

取組内容

(写真：中能登町提供)

電気自動車「コムス」実証実験 (2021年11月18日～2021年11月30日)

- (目的) 多様な旅行者のニーズ対応のため、SDGsや環境への意識の高まりを促進しながら、電動小型モビリティ(電気自動車)を使用した観光スポットを巡る周遊観光モビリティコース開発及び運用実証実験を実施した
- 配置場所 道の駅織姫の里なかのと 2台配備 超小型EV
- 運用検証観光地
 - ・(一社) ななお・なかのとDMOと連携し、株式会社「DOKKA(どっか)」との無料試乗会や、石動山、天日陰比め神社 みおやの里、七尾市など 道の駅織姫の里なかのとから主要観光地 最大9キロメートル圏内の山間部などの移動。時間は、15分～40分ほど。スマホでの受付が可能
- 参加モニターは約5名 乗り心地、充電場所、その他課題などをアンケートで回答 (良い点) 安定感、速度、 (課題点) 充電時間が長い、駐車スペース、受付対応



「モビリング」って?
風を感じる、景色を楽しむ! 移動時間も楽しむ!
電気で走るマイクロEVで自由に観光。

車両情報

- 車両情報: トヨタ車体製、コムス
- 車両区分: ミニカー、原動機付自転車4種
- 免許: 普通自動車免許(原付不可)
- 保険: 自賠責、任意保険

乗車定員 1人乗り

最大積載重量 30kg

航続距離 50km

最高速度 60km

省スペース 駐車も77cm

完全電動 CO2排出ゼロ

お問い合わせは

- 連絡 利島温泉観光協会 ななお・なかのとDMO
- 連絡 0767-62-1555
- 公式LINEアカウント @475clre

▶お友達登録して、コムスの操作動画をみてね

走行可能時間は約1時間です。安全に観光をお楽しみください

なかのと町周辺

- 道の駅 織姫の里なかのと
出発・到着地点
- 石動山
道の駅から 8.6km
- 越石ヶ峰原山大池
道の駅から 9.3km
- 不動滝
道の駅から 2.7km
- 雨の宮古遺跡
道の駅から 7.9km
- 里山里海ミュージアム
道の駅から 7.9km
- 能登上布会館
道の駅から 5.9km

*営業時間、入場料等は個々にご確認ください

電気を防ぐため、数キロ先の観光スポットへの周遊は、バッテリーに十分な余裕をもってお楽しみ下さい

DOKKA 株式会社DOKKA

取組内容

(写真：中能登町提供)

AIスピーカー体験実証実験 (2021年8月から実証実験開始)

➤ 「ITてるてる坊主」と愛称をつけて、中能登町のシンボルである「おりひめ」や「おにぎり」のキャラクターを活用し基幹産業の織物で制作。高齢者施設（ゆうゆう）や役場庁舎に設置して、天気予報などの機能性などを体験いただく。石川高等専門学校、国際高等専門学校と連携して活動に取り組んでいる。

【想定】一人暮らしなどの高齢者の話し相手など寄り添う存在となりうるか

【課題】能登の方言に対する誤認識があった

【効果】演歌などの高齢者が望む情報取得が好評

➤ 2021年8月から中能登町役場 総務庁舎 企画課内で実証実験を開始

➤ 2021年10月21日は、老人福祉施設「ゆうゆう」で体験会を実施。

参加モニターは約5名



(写真：中能登町役場に設置
天気に応じてAIが認識して色が変化する)

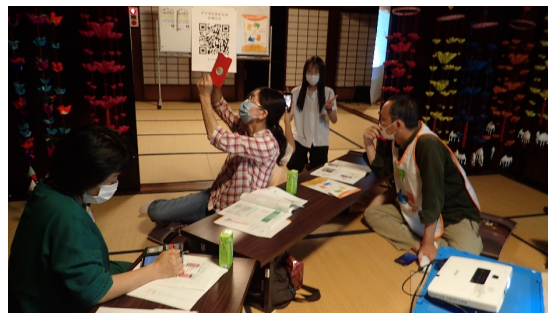


取組内容

(写真：中能登町提供)

デジタル活用支援員を活用したアカデミー創設に向けたプログラム実証
(2021年10月10日、10月28日、11月18日)

- スマホで快適生活相談会プログラム実証
(古民家みおやの里) ※町民対象 【主催】中能登町デジタル活用協議会
令和2年度に実施した総務省のデジタル活用支援員の地域実証事業で育成した活用支援員を軸に、スマホやマイナンバーカードの有効性や防災アプリなどを3回シリーズで開催した
【想定】デジタル活用支援員の支援活動の広がりやアカデミー創設の機運醸成につながるか
【課題】個々の活動をどう支援するかが課題
【効果】デジタルリテラシーの獲得
【参加者】14名(女性協議会、ほか町民) 支援員 7名参加
- 10月10日 デジタルの日 スマホ操作・LINE・ゲームアプリ等
10月28日 LINEビデオ通話・グループLINE・ゲームアプリ等・Yahoo防災・マイナンバーカード
11月18日 LINE写真アルバム・ネット検索・地図アプリ等・Yahoo防災・キャッシュレス決済
- 今後 町独自のデジタルリテラシーを学べるアカデミーを創設し、支援員確保につなげる



取組内容

(写真：中能登町提供)

ARコンテンツ造成を想定した動画撮影事業 (2021年10月27日)

➤ ARコンテンツ造成を想定した動画撮影 2021年10月27日

(一社) ななお・なかのとDMOと連携

歴史的背景に基づいた往時の合戦などを再現し、訪日外国人等観光客が、日本の文化を理解・体感できるようにARコンテンツを造成できるように動画を撮影

【想定】史実に基づき、現地では体験できないコンテンツ造成ができるか

【素材】上杉謙信が史跡石動山にたてこもり、七尾城を攻め落とす「合戦前夜」を再現 (天正5年) ほか

※上杉謙信との軍議、勝ちどきの宴、合戦前夜の琵琶による詩吟、僧兵再現

※上杉おもてなし武将隊 (新潟県上越市) と連携して再現

【課題】時代背景と現地との乖離の調整 (多少のフィクションを入れないと実現できない)

【効果】新たなデジタル観光コンテンツの造成の期待がかかる

➤ 10月27日 史跡石動山にて撮影 ※大宮坊 出演者約7名

➤ 令和4年度に撮影したコンテンツを活かし、AR素材によるデジタルコンテンツを制作する



取組内容

(写真：中能登町提供)

令和4年度以降のスマートバリアフリーシティを目指した未来技術実装の基本構想

スマートバリアフリーシティ 障がい攻略DXまちづくり推進事業 概要

地域のICT化を推進

障がい者にやさしいまちづくりを未来技術で解決

スマートツーリズム

- 疑似体験
- バーチャル
- タブレットガイド
- ICTかかし
- デジタルコンテンツツアー造成
- 観光推進

スマートモビリティ

- 二次交通
- 電気自動車
- 電動キックボード
- 観光バス
- 地域交通

スマートモニタリング

- 能登上布お守り
- 健康アプリ
- 健康ポイント
- 健康管理見守り

地域通貨

- 地域通貨
- ローカルポイント(どぶろく、トレラン)
- お買い物ツアー
- 地域経済活性化

スマートロボティクス

- 工程一部機械化
- ロボガイド案内
- 伝統継承
- 施設管理

スマートモニタリング

- リモート管理
- スマホ施設

デジタルアカデミー

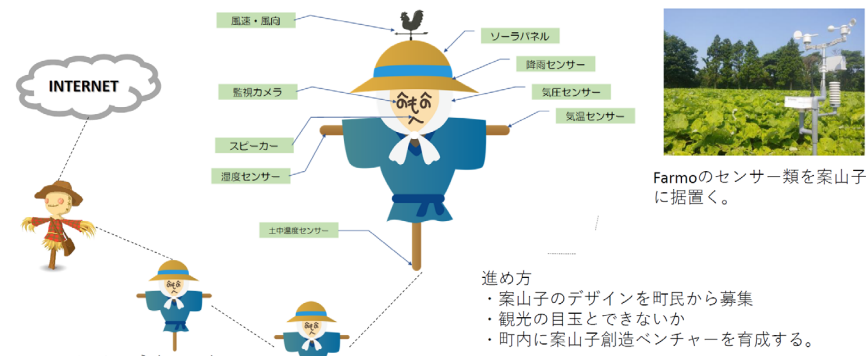
- デジタル活用支援員
- ドローン体験
- ワークショップ(古民家にて)
- 人材育成

実証、実装を繰り返す

①仕様作成 ②実証実験 ③課題抽出・解決 ④実装

IoT案山子

代表機関名	
実施地域	
実施概要	IoT案山子プロジェクト 案山子は本来、鳥獣害から農作物を守る目的で設置されるが、これにIoT環境センサーを組み込み、外見は一般的な案山子だが、地域の気象情報等を測定し、農作用の一助となるものである。また、中能登町の久比古(くへこ)神は、古事記に「この神は山田の 曾當騰(そほど:案山子)のこと 足は歩かねど居ながらにして天下のことを知れる神なり」と書かれてあり博識の神で田や山を司る神であるとの伝承があり、中能登町に親和性がある



➤ IoT案山子は「デジタル田園都市」のモデルケースとして推進予定

➤ スマートバリアフリーシティを目指し「地域のICT化」を進める